

【ポスターセッション】

## 韓国の教員年金に対する所得再分配効果の分析

(The Analysis of income Redistribution Effect on Teachers' Pension in South Korea)

○ 私学年金公団 (Teachers' pension) Son Jungmin

キーワード3つ: 所得の再分配(Income Redistribution), 私学年金(teachers' pension), 所得再分配効果(Income Redistribution Effect)

本研究は、私学年金公団(Teachers' pensions)の内部研究課題として遂行されたものを修正/補完したものであり、私学年金公団 (Teachers' pensions) から研究支援 (COI) を受けて遂行されたものである。

### 1. 研究目的

公的年金である私立学校教職員年金(以後、私学年金という)は、2016年に所得再分配制度を導入した。それにより、世代内所得階層間の格差を縮小し、退職後(老後)の所得保障を強化して「全ての世代に渡って持続可能な老後の所得を適切に保障する」といった概念に拡張しようとした。現在、導入から7年目の私学年金は、所得再分配の問題点と補完点の導出が最も重要な時期を迎えている。

そのため本研究の目的は、私学年金の所得再分配に対して退職後の所得保障における適切性と世代内公平性の観点から個人間の所得再分配の効果を確認した上で改善点を導出することにある。ついては、導入7年目を迎えた私学年金の所得再分配の現状を診断、所得再分配の個人間の効果を分析して補完事項を確認し、改善方法について提示した。

### 2. 研究の視点および方法

私学年金公団の内部研究課題として2022年1月から12月まで研究を実施。

測定方法は、私学年金の所得再分配における算出式に従い年金支給額のシミュレーションを実施、所得再分配の効果を推定した。

まず、2つのグループに分け、現時点と30年後の時点でのシミュレーションを実施。

(グループ1) 2018年に退職し、2019年から退職年金受給を開始した現在の受給者

(グループ2) 2022年に任用され、30年間在職した後、退職予定の未来受給者

現在の受給者を推定する際の過去期間については、実際の当該年度基準所得月額と報酬値上げ率を参考にし、未来の受給者の場合は、2015年の第4次財政再計算に適用された推定値に基づいて試算を行った。

このように分けた2つのグループは、所得を基準に上位・中位・下位に区分し、「所得再分配を適用した際の決定年金額」と「所得比例を適用した際の決定年金額」を推定して所得再分配の効果を測ってみた。

### 3. 倫理的配慮

本研究は、法規に従った算式を活用し、推定された数字を通じて、現在と30年後の期間をシミュレーションし、その算式による所得を推定する研究であり、IRB対象ではない。また、国の公的機関の内部研究課題として遂行された研究であり、IRB対象ではない。ただし、Teachers' pension機関内部で研究・審議を進めたものである。今後必要となった場合、IRBの審議を行う意向があり、その他、研究倫理に関しては、剽窃チェッカーを使用し剽窃率5%未満であることを確認した。

### 4. 研究結果

この研究結果は、以下の通りである。

まず、現在の受給者の場合、基準所得月額を基準にして上位、中位、下位所得者を比較した結果、所得比例を適用した場合の決定年金額と所得再分配を適用した場合の決定年金額では、その違いが大きくなかった。(詳細研究結果は、表にて提示予定)

次に、所得再分配の導入前後に関する明確な違いを比較するために、未来受給者の退職時点を基準にシミュレーション結果を確認した。

まず、基準所得月額を基に所得水準が上位の場合では、所得比例を適用した際の決定年金額と所得再分配を適用した際の決定年金額の差額は388万ウォン(単位: KRW)と、これは所得比例を適用した時の決定金額の26.1%に該当する高額に値するものである。

所得中位の決定年金額の差額は、153万ウォン(単位: KRW)と15%に該当する差を見せ、所得再分配の導入の効果は、一世代が過ぎた後に明らかになることが確認できた。

しかし、未来受給者の中で所得水準下位の場合では、現在受給者の所得水準下位のケースと同様に差額は発生しないことを確認。

### 5. 考察

このように、現在導入されている私学年金の所得再分配の場合、社会保障制度の趣旨に沿って高所得者への年金受給額を調整し、低所得者の所得分配機能強化を通じて老後の所得保障と所得代替に対する機能をするという解釈は困難があり、早急な制度改善が必要な部分だ。